

生きがいづくりクリエイターとして

著：櫻井 八郎



[1] シニアリーダーと生きがいづくりクリエイター

北海道社会福祉協議会及び長寿社会推進センターに所属し、その登録を受ける人達、即ち、自己の得意分野でリーダーとして認められ、登録済みの団員であること。

*シニアリーダー及び生きがいづくりクリエイターの目的

- ① 地域老人会の健全育成
- ② 老人会を活性化する活動家の育成
- ③ 生きがいづくりクリエイターの養成
- ④ 地域の老人達の事業への支援と補助金制度への活用化を図る
- ⑤ 老人クラブ員の保健事業の推進

*ちなみに、私はこの集団の年齢上位と言う事で、その会長を務めている。即ち、道人材バンク会長でもある。



修了証書

修了番号第 62 号

氏名 櫻井 八郎

大正 15 年 3 月 26 日生

あなたは、生きがづくりクリエイター養成講座において所定の課程を修了したので修了証書を授与します。

平成 21 年 6 月 26 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会
北海道長寿社会推進センター

所長 **梅井 治雄**



それでは私に執って・・・

①天から授けられた報酬なき職業である。

②此の活動は自己犠牲は当然。奉仕を旨とする。

③此の活動に年齢制限はない。ちなみに88才。

④

① 蘭越町身体障害者福祉協会理事

② 蘭越町高齢者事業団理事

③ 道生きがいつくりクリエイター

④ 道シニアリーダー

⑤ 蘭越町蘭寿大学大学員生 スポーツ部所属

⑥ 蘭越町パークゴルフ愛好会員

⑦ 昆布パークゴルフ愛好会員（常連）

⑧ 蘭越グランドゴルフ愛好会員（役員並）

- ⑨ 昆布グランドゴルフ愛好会会長
- ⑩ 蘭越町昆布パトロール隊員
(朝、昆布十字街交通安全)
- ⑪ 昆布老人会泉寿会員 (幹事)
- ⑫ 昆布小放課後教室 GP 事業推進者
- ⑬ 蘭越町役場・・・地元ボランティア、用事、出頭
等々
- ⑭ 週月曜日 1 回ヘルパーさん食事づくり。月 2 回町
給食。月 2 回時間を特定される。
- ⑮ 昆布診療所月 1 回
- ⑯ 厚生病院 (倶知安)
- ⑰ 市立小樽第二病院 3 ヶ月 1 回
心臓外科 (ペースメーカー入り) 年 2 回

これだけあれば暇等あるはずが無い。自分ながらよく体が
続くと思う。

[2] グランドゴルフと全国大会出場

子供の時からスポーツ大好き人間であった。

スキー、スケート、陸上競技。陸上とスキーは管内の登録選手であった。

それに野球。野球等は子供から加えると、約50年と言う野球人生である。

スキーは蘭越へ来てアルペンも距離も金メダル。

晩年は障害者一級で金メダル4個、銀1個と道大会のメダリストと成った。

80才過ぎて、スポーツはパークとグランドゴルフのみに成り、晩年の私へ興った最後のスポーツである。

それ故、地元のパーク場へは暇さえあれば、毎日の様に通う常連である。

歩いて2分。我が家の庭にパーク場が存在する。

グランドゴルフは晩年の私へふさわしいと想った故、道の3級普及免許をとった。

これが、私を「ねんりんピック」へ押し上げてくれたのである。

補欠2番目の私は、出場権は無い筈であった。しかしどういわけか、私が出場者に選ばれた。

5人制から6人制に変わった時に、私は6番目のぶら下がりでお出場へ。

開催当時、県外では88才という者は私1人。高齢者賞を頂く事となり、面目を施す。

文面には「長い間、生きがいつくりに尽くされた」と有り、ようやく胸のつかえが降りた気持ちである。

ホールインワン30mを一発入れて蘭越勢として、溜飲を下げたのである。

それだけ運も良い結果となった。

道代表2位の座に付けたのも、大勢の人が日頃私を支えてくれたお陰と私は感謝の気持ちで一杯である。



[3] 地域の子供を見守る昆布十字街

昆布国道十字街で、朝登校の児童を見守り始めて約8年以上。平成18年夏からである。

照る日も雨の日も、吹雪も嵐も毎日続けて8年以上行ってきた。

これは子供は実に可愛いからである。

地域の子供達は私の孫達である。毎日、子供の顔を見に行くのが私の日課である。

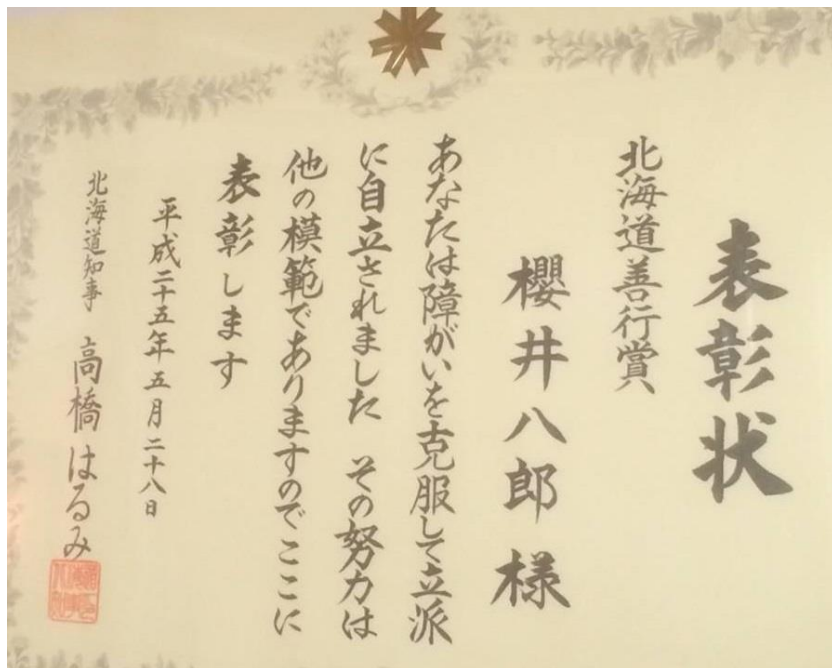
それ故に、朝登校せぬ日にはすごく気になる。子供の元気な顔。楽しみ。

氏名 櫻井 八郎

生年月日 大正15年3月26日生

住所 北海道磯谷郡蘭越町昆布町30-1

生まれた処 北海道磯谷郡南尻別村字目国内（現吉国）



「生きがいつくりクリエイターとして」

発行 2014年9月1日 初版

著者 櫻井 八郎

出版 らんこし作家デビュー・プロジェクト